

2022/01/16

119:73 あなたの御手が私を造り、私を形造りました。どうか私に、悟りを与えてください。私があなただけの仰せを学ぶようにしてください。119:74 あなたを恐れる人々は、私を見て喜ぶでしょう。私が、あなたのことばを待ち望んでいるからです。119:75 【主】よ。私は、あなたのさばきの正しいことと、あなたが真実をもって私を悩まされたことを知っています。119:76 どうか、あなたのしもべへのみことばのとおり、あなたの恵みが私の慰めとなりますように。119:77 私にあなたのあわれみを臨ませ、私を生かしてください。あなたのみおしえが私の喜びだからです。119:78 どうか高ぶる者どもが、恥を見ますように。彼らは偽りごとをもって私を曲げたからです。しかし私は、あなたの戒めに思いを潜めません。119:79 あなたを恐れる人々と、あなたのさとしを知る者たちが、私のところに帰りますように。119:80 どうか、私の心が、あなたのおきてのうちに全きものとなりますように。それは、私が恥を見ることのないためです。119:81 私のたましいは、あなたの救いを慕って絶え入るばかりです。私はあなたのみことばを待ち望んでいます。119:82 私の目は、みことばを慕って絶え入るばかりです。「いつあなたは私を慰めてくださるのですか」と言っています。119:83 たとい私は煙の中の皮袋のようになっても、あなたのおきてを忘れません。119:84 あなたのしもべの日数は、どれだけでしょうか。あなたはいつ、私を迫害する者どもをさばかれるのでしょうか。119:85 高ぶる者は私のために穴を掘りました。彼らはあなたのみおしえに従わないのです。119:86 あなたの仰せはことごとく真実です。彼らは偽りごとをもって私を迫害しています。どうか私を助けてください。119:87 彼らはこの地上で私を滅ぼしてしまいそうです。しかしこの私は、あなたの戒めを捨てませんでした。119:88 あなたの恵みによって、私を生かしてください。私はあなたの御口のさとしを守ります。119:89 【主】よ。あなたのことばは、とこしえから、天において定まっています。119:90 あなたの真実は代々に至ります。あなたが地を据えたので、地は堅く立っています。119:91 それらはきょうも、あなたの定めにしたがって堅く立っています。すべては、あなたのみおしえだからです。119:92 もしあなたのみおしえが私の喜びでなかったら、私は自分の悩みの中で滅んでいってしまおう。119:93 私はあなたの戒めを決して忘れません。それによって、あなたは私を生かしてください。119:94 私はあなたのもの。どうか私をお救いください。私は、あなたの戒めを、求めています。119:95 悪者どもは、私を滅ぼそうと、私を待ち伏せています。しかし私はあなたのさとしを聞き取ります。119:96 私は、すべての全きものにも、終わりのあることを見ました。しかし、あなたの仰せは、すばらしく広いのです。

はじめに

昨年8月に始めた詩編 119 篇シリーズの続きができて嬉しく思います。

トッドさんはじめ役員の方皆さんありがとうございます。真美子さん、翻訳やスライドの準備を感謝します。ウェンディと私は今も皆さんのためにお祈りしていますし、時々祈りのリクエストを受け取ることもあります。

もう 2022 年になりました。この新年に計画や期待を持っておられるでしょうか？

事前に計画を立てることは間違いではありませんが、時には神の究極的な目的や私たちの最善のために神が私たちの計画を変更されることも期待すべきです。

人は心に自分の計画を巡らせるが、歩みを導くのは主であると聖書は教えます（箴言 16:9）
新年を迎えるにあたり、私自身と皆さんが取り組むべきは...

「神の御言葉を知り、従うことを生活の中での最重要項目とすること」

この課題と関連して、詩編 119 篇 73-96 節はこのテーマに注目するのに最適で非常に励ましとなる箇所の一つです。

まずは詩編 119 篇 73-96 節を読んでみましょう。

1. ヘブル文字「Yod (ヨッド)」 :119 篇 73-80 節-「取り扱い説明書を読むべし」

私たちが聖書を読み人生で応用していくとき、神の御言葉が様々に働くことを著者はここで知らせてくれています。

a) 私たち自身について学ぶ - (73 節)

聖書を読んでみると、聖書は鏡のようであると分かります。

私たち自身を聖書の中で目にするのです。また聖書には現実的な言葉が並びます。世がどのようなものか神は私たちに隠すことはなさいません。聖書で、私たち自身の人生を映し出すような様々な人生の物語を読むことができます。多くの人がダビデ、モーセ、ヨセフの性質を自分と重ねることでしょう。私自身はいつもヨセフの人生を思い感謝しています。

創世記 50:20 「50:20 あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました...。」

私も今までの人生で、ヨセフが体験したのと同様のことを何度か経験してきました。そういった時には、神が選ばれたしもべとしての人生に生きるようにされたことに励ましを受け神に感謝したものです。

皆さんが今年どんな経験をしたとしても、自分を重ねることができる状況を聖書の内に見つけられるでしょう。ですから聖書を読むことは必要不可欠なのです。

新しく製品を購入したら、普通は時間を取ってその説明書を読むでしょう。製造会社は購入者にその製品を最高の状態で使って欲しいものです。そうすればクチコミでその友達も買ってくれるかもしれません。

聖書は、神の民のための取扱説明書です。

聖書は私たちがどこから来たのか、なぜここにいるのかについての真理、そして人生を成功させるには何をすべきなのかを教える唯一の本です。

また聖書は、私たちがどこへ行くのかも教えてくれます。

神は私たちが造ったのですから私たちよりも私たちがよく知っておられます。

具体例

ちょっと失礼します...

私は今英国にいて、ほとんどの皆さんは今日 OIC のスクリーンで見られることでしょう。私の顔に何か違う点があると気付いた方もいるのでしょうか。もしも私が OIC に居たとしたら、トッドさんやブラッドさん、ジェニーさんさえも、「顔が乾燥していますよ！」というプラカードを掲げたことでしょう。

他の皆さんは遠慮してそのように言われなくてもいいかもしれませんね。
しかし説教者の顔がものすごく乾燥していたらむしろ気が散ってしまうでしょう。

顔の乾燥を否定する私に、トッドさんがきつと鏡を持ってきて、鏡を見てくださいと言うに違いありません。
すると「本当に顔が乾燥しているじゃないか、トッドさんが正しかった！」と私は衝撃を受けます。そしてこのようにウェットティッシュを急いで取ってきて顔を拭くことでしょう。

鏡がなくては、丁寧に指摘してもらっても私は顔が乾燥していることに気づくことができません。これが、聖書を読んだときにどうなるかの分かりやすい実例です。

聖書を読むとき、私たちは聖い神が私たちを見られるように自分たちを見ます。聖書を読むことがなければ、私たちは自分自身の視点からしか自分たちを見ることができません。
私たちが見ることができない人生のあらゆる汚れを神はご覧になります。聖書を読むとき、それは聖い鏡のような役割を果たします。

ヤコブ 1:22-25 「1:22 また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。 1:23 みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で見る人のようです。 1:24 自分をながめてから立ち去ると、すぐにそれがどのようなであったかを忘れてしまいます。 1:25 ところが、完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。」

b) 他者の祝福となる(74 節)

聖書を読み、従えば、聖書は私たちの心に喜びをもたらします。

1983 年頃(約 40 年前)に、英国のデヴォン州エクセターにある教会で、バプテスタの牧師が説教で話した実話をいつも思い出します。

実はその牧師に新年の日曜日にお会いして、また同じ話をお聞きしました。そのエクセターのバプテスタの牧師は、当時アメリカに居て、信仰の故にキューバで刑務所に入れられたという宣教師に会いました。

その他にも多くのキューバ人のクリスチャンが、自分がクリスチャンだと認めただけで刑務所に入っていました。

土でできた非常に単純な造りの刑務所に着いた時、その宣教師は小さな聖書を持っていました。

彼は、看守がすぐにやってきて聖書を取り上げ、焼いてしまうとわかっていました。ですから、彼は聖書のほとんどのページを破って、運動場で他の囚人たちに会うと数ページずつ渡しました。

そしてくるくると巻かれた聖書のページをそれぞれの監房の壁に隠すようにみんなに指示しました。

囚人たちは土の壁に小さな穴をあけて、巻かれた御言葉、聖書のページを差し込みそして唾をつけて土でその穴を埋めました。

罰の一環で、看守はクリスチャン囚人たちを次々と別の監房へと移動させました。彼らはひどい扱いを受け、拷問され、食物もろくにあたえられませんでした。けれども、彼らは喜びと信仰を驚くべき方法で保ったのです。その理由は、彼らが継続的に神の御言葉を読んでいたことにありました。別の監房に入れられる度に、彼らは新しい土の塊を見つけて、その土をかきとって聖書のページを取り出したのです。

何度も監房を移動させられたおかげで、彼らは違う聖書の箇所を定期的に読むことができました。

聖書を読むことで、彼らは心に大いなる喜びを得たのです。

もし他者の祝福になりたければ、私たち自身の心に対する御言葉の働きが不可欠です。それから、私たちが聖書を読むことで受ける喜びが他者へとあふれ出ていくべきなのです。

私たちの人生はスイミングプールのようにでなければなりません。
スイミングプールは古い水が押し出されて新しい水が入ってくるようにすることで、常にきれいでフレッシュな水を保ちます。

もしも水が入ってくるばかりで出て行くことが無ければ、水は停滞し、汚くなり、泳ぐには適さないようになります。

ですから、他者への祝福となりたければ、聖霊の助けにより神の聖い御言葉が常に入ってくることに加えて、神の御言葉が他者に向けて常に流れ出ていく必要があります。

c) 困難にあつて神の御言葉を通して神の最善を受け取る (75-78 & 80 節)

神の御言葉を毎日読んでいれば、困難な時でも、御言葉が私たちの励ましとなります。

75 節にはこうあります。「**119:75** あなたが真実をもって私を悩まされたことを知っています。」とあります。英語の NLT 訳には「あなたの懲らしめがあるのは私がそれを必要とするから」とあります。

困難を経験すれば、神の御言葉が大いなる慰めとなるのです。

例

1992 年、私が最初に日本から戻った時に非常に困難な時を迎えていたことを思い起こします。当時スコットランドのエディンバラに住んでいました。留守の時に家が泥棒に入られ、物を盗まれました。またある夜、就寝しようとしていた時に、誰かが窓からレンガを投げ込んできました。

次の土曜日に、私は当時通っていた教会の人と一緒に祈っていました。すると神は詩編 31:21-22 を通してはつきりと私の心に語りかけられました。

詩編 31:21-22 「31:21 ほむべきかな。【主】。主は包圍された町の中で私に奇しい恵みを施されました。 31:22 私はあわてて言いました。「私はあなたの目の前から断たれたのだ」と。しかし、あなたは私の願いの声を聞かれました。私があなたに叫び求めたときに。」

私はこの重要な出来事をいつも自分の聖書に書き留めてきました。そうすれば、困難な時に経験した神の助けを思い出し、神を褒めたたえられるからです。皆さんもご自分の励ましのために是非そうしてください。

最初の部分の締めくくりです。神の御言葉の働きは、私たちが自分自身のことを学び、他の信者への祝福となり、人生の困難な時にも慰めと励ましを受け取ることを可能にしてくれます。

2. ヘブル文字「Kaph (カフ)」 :81-88 節-「信仰と忍耐」

この箇所の焦点は、詩編の著者が、主が彼の敵を裁かれるのを待ち望む時の応答です。

著者はまた、神が迫害や危険から救い出してくれるのを待っていました。彼を攻撃していた敵は、主ご自身とイスラエルの地の敵でもありました。

ですから著者の思いは個人的なもの以上のものでした。

サタンは、エジプトで勢力が増大していた頃からユダヤの民を滅ぼそうとし続けてきました (87 節)。

この敵の活動は終わりの時の最後まで続きます。

敵の攻撃を受けるのはユダヤの民と神の選ばれた地だけではありません。

神の御言葉に従って行こうと求めるすべてのクリスチャン信者たちも同じです。

クリスチャンの人生はいつも戦場です。遊技場ではありません。

クリスチャンになれば、クルーズ船ではなく戦艦に乗り込むのです。

ヨハネ 16:33 「16:33 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

消え入りそうでも、望みがある (81-83 節)

著者は窮状にありました。彼のたましいは消え入りそうです。その目は神の御言葉を慕って絶え入りそうになり、からだは乾ききった革袋のようです。けれどもこの節には、神の御言葉にある望みを決して諦めなかったとあります。パウロはローマでの最後の旅で船が難破した時、決して希望を捨てませんでした。

使徒言行録 27:20-26 「27:20 太陽も星も見えない日が幾日も続き、激しい暴風が吹きまくるので、私たちが助かる最後の望みも今や絶たれようとしていた。

27:21 だれも長いこと食事をとらなかったが、そのときパウロが彼らの中に立って、こう言った。「皆さん。あなたがたは私の忠告を聞き入れて、クレテを出帆しなかったら、こんな危害や損失をこうむらなくて済んだのです。

27:22 しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』」

著者は決してあきらめませんでした。私たちもそれに倣うべきです。2022年を見据えるにあたり、困難な状況によって信仰が試される時も来るでしょう。

けれども、そういった時に私たちは神に望みを置き、御言葉を信頼し、イエスに寄りかかり、神の御霊によって慰めを受けるべきです。
いつであっても神を諦めるには早すぎるのです。

問いかけながらも待つ (84-85 節)

いつまででしょう？ 苦しんでいる時に人はこのように問いかけます。

殉教者たちでさえ黙示録でそのように問いかけました（ヨハネの黙示録 6:9-11）。困難にある時、神が動かれるのを待つのは難しいものです。

ヤコブの手紙 1 章 3-4 節は、私たちの待つ間に神が働いてくださると教えています。

「1:3 信仰がためされると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。1:4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。」

信頼し生かされる (86-88 節)

以前「主がご自分の子どもたちに火のかまどを通らせるとしたら、神は時計から目を離されない」と言った人がいました。

またロバート・ケチャムはこう言っています。

「天の御父はあなたを傷つけることなどできないほどに愛され、間違いを犯すことなどできないほど知恵にあふれる」

ではよいよ最後の部分です。

3. ヘブル文字「Lamedh (ラメド)」:人や世は変わっても、神の御言葉は変わることはない(89-96 節)

神の御言葉は確固たるもの(89 節)

創世記 3 章 1 節でサタンがエバに「本当に神は言ったのですか」と聞いて以来、悪魔は神の御言葉を攻撃し続けています。

これまでの歴史で、無神論者、不可知論者、科学者、教会のリベラルな働きを通してさえも悪魔は神の御言葉を攻撃してきました。しかし神の御言葉はいまだ立っています。

神の御言葉は耳を傾けるあらゆる世代に対して語られ、聞かれています。日本でもです。日本の人々が開かれた心で神の御言葉に注意深く耳を傾けるならば、神は語りかけてくださるでしょう。

詩編 119 篇 152 節には、神の御言葉はとこしえから定められている、とあり、160 節には、神の御言葉はとこしえにいたるとあります。

神はまことである(90 節)

新年を楽しみにするにあたり、神がまことであることに励ましを受けてください。私に誠実でいてくださった神はあなたに対しても誠実でいてくださいます。

神の創造は打ち立てられた(90-91 節)

地球温暖化や気候変動などについて世界でどう言われるかに関わらず、神はご自身が創造された世を維持されます。神はご自身の世を、新しい天と地を創造すると決められた時まで保たれるのです。

ペテロ第二 3:5-7 「3:5 こう言い張る彼らは、次のことを見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって水から出て、水によって成ったのであって、3:6 当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。3:7 しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているのです。」

神の平安はここに(92-95 節)

この節で著者は、神の御言葉が無ければ悩みの中で滅びてしまっていたが、神の御言葉のゆえに平安を得ることができると言っています。

私たちにとっても同じです！

最後に、神は今年私たちが安全地帯から抜け出すことを望んでおられます！

(96 節)

最後の節には、多くの真理が埋まっていますすべてを掘り出す時間はありません。けれどもそこには私たちへの課題が見て取れます。

英語の NKJ 訳は、「あなたの仰せは、非常に広いのです。」

NIV 訳は「あなたの仰せには境界線がありません」、

NLT 訳には「あなたの仰せには限りがない」とあります。

クリスチャンとして私たちは、自分ができること、理解できること、自分たちの小さな信仰に合わせて神を限定して見てしまうことがよくあります。

それゆえに、何に関しても神を信頼せず、信仰の一步を踏み出して神に仕えることがないために神の働きが見えない「安全地帯」を生きることがあります。

神は完全ですが、私たちは違います。しかし神は私たちに関わることを完全にすることができます。

詩編 138:8 には「**【主】は私にかかわるすべてのことを、成し遂げてくださいます。**」とあります。

神は 2022 年、あなたの人生の内に働くことを望まれることは確かです。

けれども人生において神を完全に信頼することは、自分を安全地帯から連れ出すことであると覚えておかなければなりません。

そこでまた最初にお分かちした、私と皆さんの取り組むべき課題へと戻ります。

「神の御言葉を知り、従うことを 2022 年の最重要項目にすることです。神はあなたをどこへ導かれるでしょうか」

私は 59 歳の時、安全地帯に居ましたから、霊的なチェックをしました。

そして最後のフルタイムのミニストリーとしての 5 年間で、神の御心を知り、それに従うと決心しました。

OIC の牧師となるべく日本に来るとは予想していませんでしたが、それは神の御心でした。そして私のミニストリー経験の中でも最高の 5 年間となりました。

大変なことが無かったわけではありません。真美子さんや優子さんもそれをご存知です。けれども、神は御言葉に対してまことであられました。

是非励ましを受け、信仰において前進し、安全地帯を抜け出して今年神にお仕えするよう心に決めましょう。

アーメン